

植物多様性センターの「バアソブのポリネーター」

バアソブは、雑木林の林縁や山地の明るい草地などに自生するキキョウ科のつる植物です。自生地の開発や里山の荒廃などで、東京都では絶滅危惧種となっています。今年度、種子から育てた個体を学習園に植栽したところ、順調にツルを伸ばして花をつけました。開花中、どんな虫が来ているか観察をすると、花蜂ではなく、ほぼ決まってミカドトックリバチとクロスズメバチでした。



開花: ツルニンジンより小型の鐘型の花冠を下向きに開く



受粉: 背中に花粉をつけ、頻繁に訪花するミカドトックリバチ



受粉: 花粉にまみれて吸蜜するクロスズメバチ



子房中位の果実: 受粉後、上を向き、ガクの上下が膨らむ